



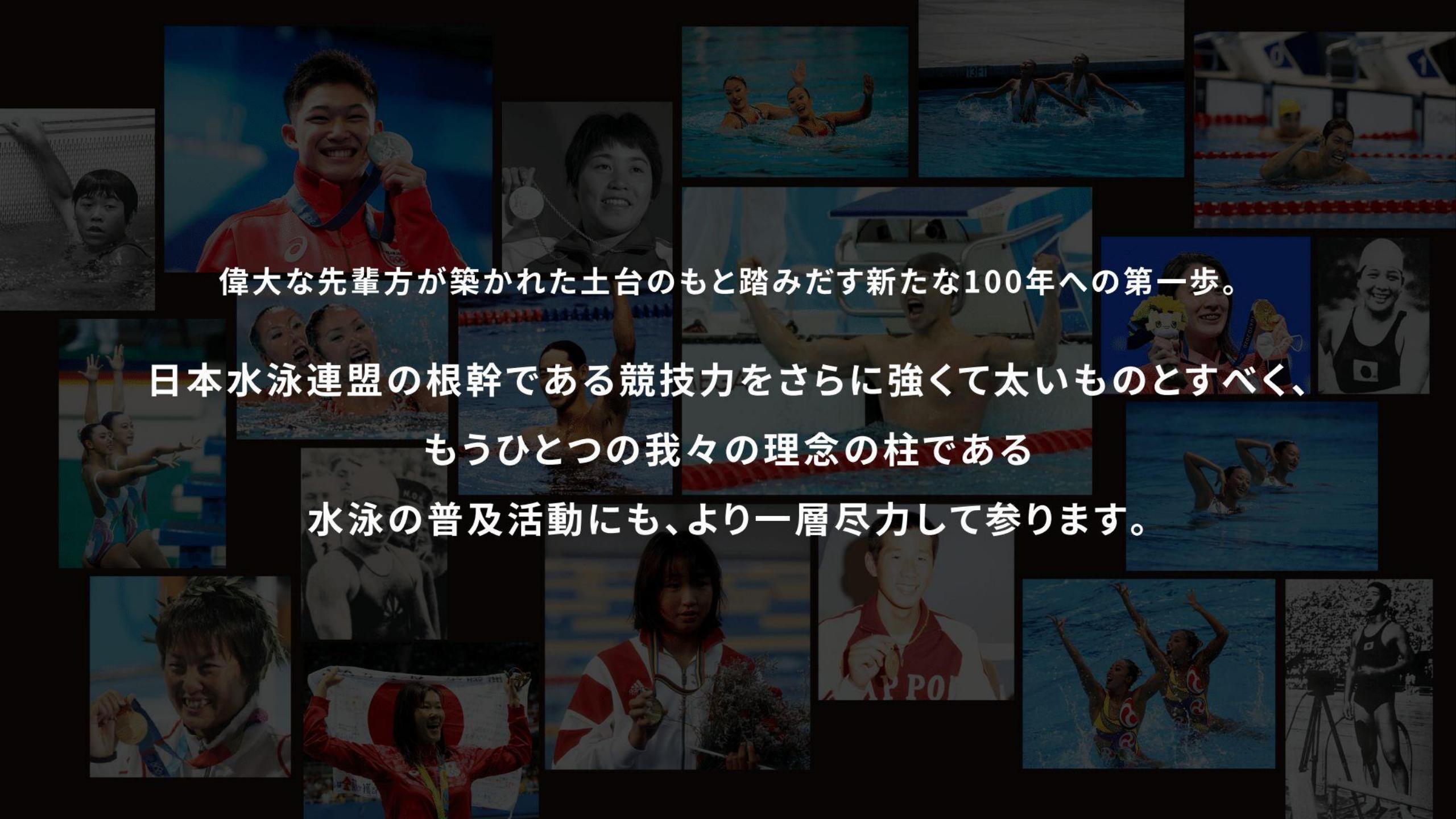
日本水泳

つぎの100年に向けてのアクションプラン

おかげさまで日本水泳連盟は、  
100周年を迎えることができました。  
先人たちが築いてきた歴史をつなげ、  
次の100年へ漕ぎ出す今年。  
改めて日本水泳連盟の存在意義、そして  
つくっていきたい景色について考えてみました。



これまで日本中を熱狂させてきた輝かしい成績は  
「センターポールに日の丸を」という競技力強化の大本命のもと  
紡がれてきた長い歴史であり、今現在も私たちを勇気づけてくれています。



偉大な先輩方が築かれた土台のもと踏みだす新たな100年への第一歩。

日本水泳連盟の根幹である競技力をさらに強くて太いものとすべく、  
もうひとつ我々の理念の柱である  
水泳の普及活動にも、より一層尽力して参ります。

日本水泳連盟がつくっていきたい景色を改めて整理するにあたり  
水泳自体の、水とともに暮らすことの裾野を  
広げていくことが必要だと考えました。

その観点で、今回改めて連盟の存在意義を見直していきます。

新たな決意のカタチとして、  
日本水泳連盟は新たな名称へ。  
そして新たなロゴへ。



公益財団法人 日本水泳連盟

Japan Aquatics

「水泳」から「AQUA」へ。

「水泳」から「AQUA」へ。

そうした時に、

わたしたちの存在意義を改めて考えてみました。

# **STATEMENT**



# 水の国を、楽しみ尽くそう。

人類の起源は、水の中。  
ひとりひとりが生まれる時も、水の中から。  
そう考えるとわたしたちは、  
生物として根本的に、水とつながっている。  
ましてや日本は、水の国。  
水と関わり合いのない生活を送る方が、  
むしろ不自然でさえある。

だからこそわたしたち日本水泳連盟は、  
「国民皆泳」を掲げる。  
幼少期の体力から、老年期の健康まで、  
水とともにつくっていく。  
水を楽しみ尽くすことは、人生を楽しみ尽くすこと。  
この星に生まれた人類は、宇宙でもっとも運がいい。  
この国に生まれた人々は、地球でもっとも運がいい。



公益財団法人 日本水泳連盟  
Japan Aquatics

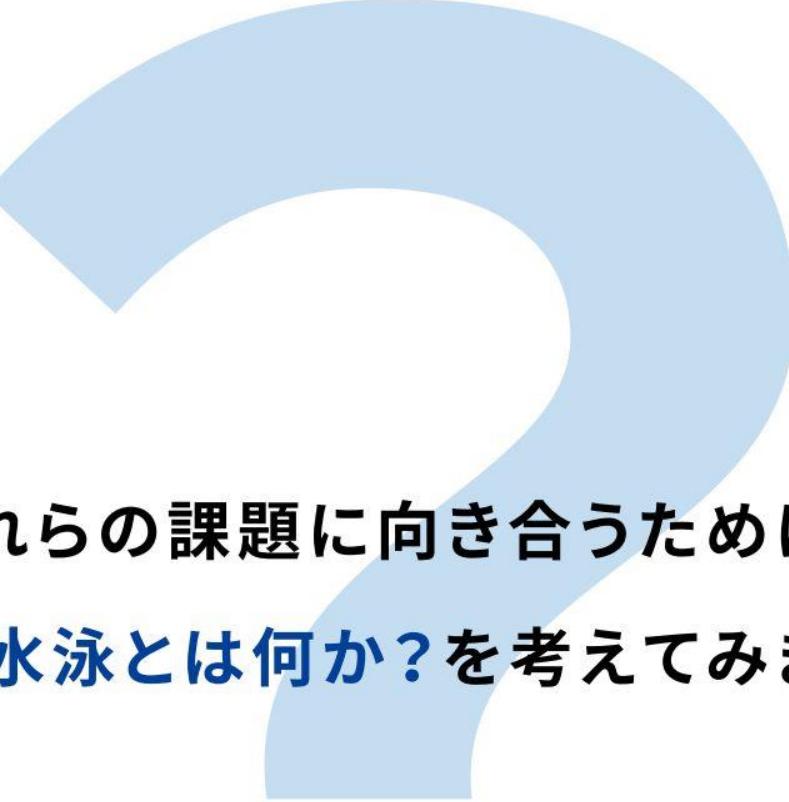
すべての人が、「水の国を楽しみ尽くす」。

そのために、水との触れ合いの象徴である

水泳を、再定義することが必要だと考えました。

日本水泳は様々な課題に直面しています。

- ・小中学校のプールの減少、授業の外部委託化
- ・減少しない水難事故など。



これらの課題に向き合うために、  
改めて**水泳とは何か?**を考えてみました。

**水泳は、すべての人の役に立つ。**

## 幼少期の「からだづくり」に

- ・利き腕に関係ない
- ・体幹が強くなる
- ・肺機能も強くなる
- ・空間認知能力があがる
- ・(免疫により、風邪ひきづらくなる)

つまり...



子どもが将来どのスポーツを選ぶとしても役に立つ、

**子どもの可能性を広げるためのスポーツ**

## 中高年の「健康づくり」に

- ・水の中は身体を動かしやすいので、身体が完全に機能しづらい人でもできる。
- ・水泳を通じ、コミュニティに属することで  
肉体的フレイルのみならず、「社会的フレイル」の予防につながる。

※社会的フレイル＝家族や友人・知人との交流機会が減少するなど、社会的に脆弱な状態にあること。

つまり...



スポーツの中でトップクラスに万人が長い間続けられる、

# 究極の生涯スポーツ

これらをまとめて、  
水泳をこう再定義します。

# THE BASIC SPORTS

**THE BASIC SPORTS** たる、水泳。  
この概念を浸透させていくためには、  
「宣言」だけでは足りない。

何かしらの、「アクション」がいる。

## 「する」「観る」「支える」

あらゆる形で水泳に関わる関係人口を可視化し、増やし、  
その熱量を高めていけるような仕組み。

コミュニティをつくる。



AQUA  
CREW











AQUA  
CREW







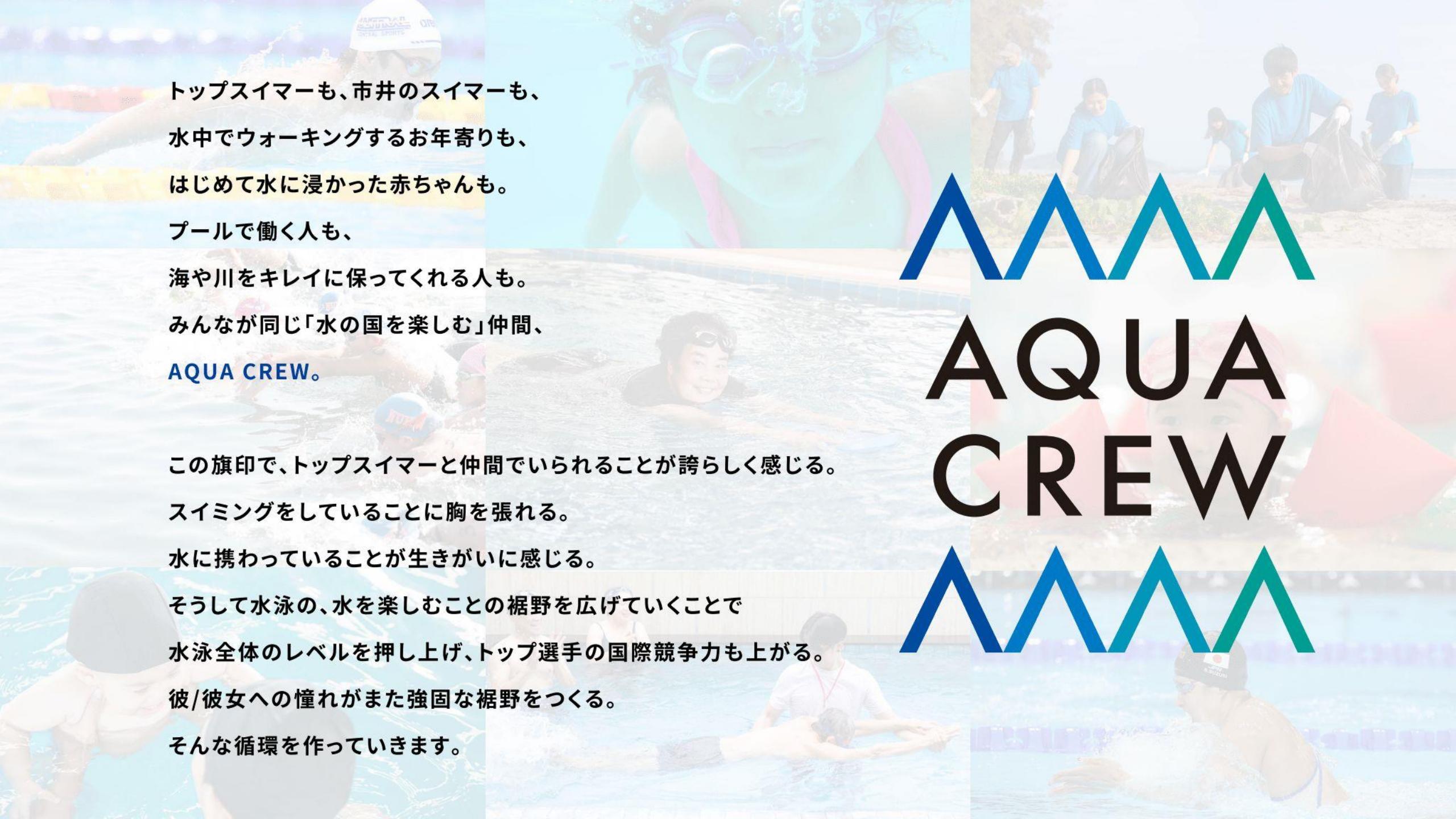






アクアルー  
缶バッチ





トップスイマーも、市井のスイマーも、  
水中でウォーキングするお年寄りも、  
はじめて水に浸かった赤ちゃんも。  
プールで働く人も、  
海や川をキレイに保ってくれる人も。  
みんなが同じ「水の国を楽しむ」仲間、  
**AQUA CREW。**

この旗印で、トップスイマーと仲間でいられることが誇らしく感じる。  
スイミングをしていることに胸を張れる。  
水に携わっていることが生きがいに感じる。  
そして水泳の、水を楽しむことの裾野を広げていくことで  
水泳全体のレベルを押し上げ、トップ選手の国際競争力も上がる。  
彼/彼女への憧れがまた強固な裾野をつくる。  
そんな循環を作っていきます。



アクアクルーをさらに増やしていくことが、  
我々日本水泳連盟の使命であり、  
新たな100年を迎えるにあたっての決意です。

# 水の国を、楽しみ尽くそう。



水を楽しむことを通じて、  
次の100年にわたって全ての人々がより健康で幸せな日々を過ごせる  
世の中を実現するために、皆様のお力添えが必要です。



誰もが「水の国を楽しみ尽くす」ための施策について

- ・強化体制
- ・中期経営計画の策定
- ・具体的な取り組み方針

という3つの観点でお話させていただきます。

# 強化体制



日本代表チーム強化



ジュニア強化策



次世代コーチ育成

個々の特性に沿った支援

世代に合わせた支援

国際大会/会議への派遣

担当コーチとの密な連携

オンライン講義の実施

強化事業への招集

レベルに合わせたサポート

生活面からのサポート

柔軟な育成方針

## 中期経営計画の策定



# 具体的な取り組み方針

する

観る

支える

## AQUA CREW・ステートメントの全国普及

AQUA CREW の缶バッヂおよび、  
新ステートメントポスターの配布



全国の水泳愛好家に  
AQUA CREWの一員であることを伝え、  
水泳界へのつながりを意識してもらう

## SNSを活用した施策

#AQUA CREW で全水泳関係者向けに投稿を喚起



# 具体的な取り組み方針

する

観る

支える

## SNS発信の強化

### 公式Instagramアカウント



### 公式Xアカウント



## ファンサービス強化

### サイン会・公開練習の実施



- ・水泳ファンがより水泳に熱中できるような環境の整備
- ・次世代の選手たちが夢や目標が持てる機会の創出

# 具体的な取り組み方針

する

観る

支える

## 水泳の社会的価値向上

### Wear to Fashion プロジェクト



- ・「未来へつなぐ 水着を泳縁に」をキーワードに活動を展開。
- ・大会会場だけでなく、地域の水泳関連施設にも配置し  
AQUA CREW一丸となって、水泳の社会的役割を担っていく。

### スイム 😊スマイルプロジェクト



- ・「命を守ることができるスポーツ」水泳の教育を発信。
- ・AQUA CREWの一員であるトップスイマーにも協力を仰ぎ  
水泳の普及・啓発活動を積極的に実施。



「誰もが水の国を楽しみ尽くす」。

次の100年を、  
そのための時間に。



とともに、



AQUA CREW



になりましょう。